

報道関係者各位

Press release

ASG グループ

世界 24 カ国同時調査 第 3 回「オーナー経営者の意識調査」を発表

- 自社の見通しは大幅に改善
- 価格デフレはまだ持続
- 2年連続大幅に改善するも、オーナー経営者の景況感は依然としてマイナス

ASG グループ（グラント・ソントン加盟事務所、以下 ASG、本社：東京都千代田区、代表者：本田親彦）は、「オーナー経営者に対する意識調査」世界 24 カ国同時調査 を実施し、オーナー経営者の景況感が 3 年連続マイナスであるとの調査結果を発表しました。

各国オーナー経営者の景況感		2004	2003	2002
	インド	88%	83%	25%
	南アフリカ	84%	72%	34%
	アイルランド	79%	7%	-9%
	オーストラリア	78%	81%	50%
	カナダ	72%	62%	41%
	ニュージーランド	64%	49%	NA
	シンガポール	62%	-30%	-8%
	米国	62%	75%	42%
	香港	60%	51%	-30%
	スウェーデン	52%	24%	19%
	フィリピン	50%	-1%	NA
	トルコ	49%	36%	NA
	メキシコ	47%	23%	28%
	英国	46%	49%	4%
	オランダ	31%	6%	-11%
	ギリシャ	29%	29%	14%
	ポーランド	21%	-32%	NA
	フランス	19%	4%	2%
	ドイツ	17%	-6%	-37%
	ロシア	14%	31%	17%
	台湾	14%	22%	NA
	スペイン	9%	49%	-19%
	イタリア	7%	7%	-15%
	日本	-27%	-46%	-71%
	EU 平均	23%	15%	-12%
	NAFTA 平均	61%	73%	42%
	東アジア平均	-10%	-19%	-69%
	グローバル平均	41%	40%	3%

< 自社の見通しは各項目で大幅に改善 >

- 自社の見通しは、各項目で明るい展望が見られる。売上高・輸出・雇用・収益性・設備投資全ての項目でいずれもプラス見通しである。（P2 表「今後 1 年の自社の見通し」参照）
- 価格デフレは、継続すると予想。販売価格のみが自社の見通し項目で、マイナス予想となった。オーナー経営者は、価格デフレがまだまだ続くと考えている。

< 景況感はマイナス >

- 日本のオーナー経営者の景況感は、過去 3 年連続改善されているが、今年も -27% でマイナスの結果。
2004 年： -27%
2003 年： -46%
2002 年： -71%

どん底からは回復したが、オーナー経営者の景況感は、引き続き厳しい。独立系企業から見ると、大企業を中心とした現在の景気回復の先に待ち構える「年金問題」「少子化」「増税」「改善されない価格デフレ」などの国内問題の他、中国や米国の景気のスローダウン、国際テロの活動拡大などが景況感に陰を落としている模様。

- 一昨年、昨年と比較すると、景況感の改善がここ数年大幅に続いているが、本年度も、日本が世界 24 カ国中、景況感は 3 年連続最下位の結果。自らしか頼る者のないオーナー経営者にとって、バブル崩壊の後遺症は、一朝一夕で払拭されない。

< 米国は減速傾向 >

- 世界最大の経済大国である米国は、景気の「山」越えにさしかかり、楽観的な回答の割合は、昨年からの +78% から +62% に下がった。

イラク攻撃による原油価格高騰・金利引上げ・雇用の鈍化などが要因と考えられる。

<アジアを牽引するインド>

- 全体で最も楽観的なのが2年連続インドの経営者で、楽観と悲観の差が+88%である。新政府の下、財政・経済・産業の改革がハイペースで進められているインドでは、企業は規模が益々大きくなり、成長力と競争力が徐々に高まっている。また、インド株式市場はSENSEX指数が6000を超え、引き続き、海外の機関投資家や非居住インド人が対印投資を積極化させている。インドはこれからもしばらく存在感を高めていくと考えられる。
- SARSの影響がなくなったシンガポール(+62%、92ポイント情報)・フィリピン(+50%、51ポイント上昇)は、昨年と比べ上昇幅が大きかった。香港(+60%)は引き続き安定。全体的に景況感が改善傾向に向かっているアジア地域で、唯一下がったのは、台湾(+14%、8ポイント下落)だけである。米国経済の停滞の影響を受けていると考えられる。

<ユーロ圏、景気は穏やかに回復>

- 昨年と比べ楽観的な回答の上昇幅が大きかったのは、アイルランド(+79%、72ポイント上昇)。外国資本の積極的導入(金融特区の設置・製造業や金融業への優遇制度など)により目覚ましい経済発展を遂げていることに起因しての結果と考えられる。今年5月にEUに加盟を果たしたポーランド(+21%、53ポイント上昇)も大幅に回復している。

<世界的な傾向は総じて楽観的>

- 調査を実施した24ヶ国のうち13ヶ国の企業は、昨年と比べ楽観と悲観の差が10%以上上昇し、世界的な景況感は、この3年間で大幅に改善(+41%)。(2004年:+40%、2003年:+3%)
- 中期的な経済力を示す指標である投資予想(新規建物及び工場・機械類)は、過去3年の調査中、世界全体で最高レベルの伸び。
- 総じて楽観的な結果になったものの、テロの影響が経営者の心理に陰を落とし、調査対象のほぼ3分の1(+29%)にあたる経営者が、テロへの懸念から自国経済に対する見方がより慎重に。特にテロの標的となったロシア(+14%、17ポイント下落)、スペイン(9%、40ポイント下落)の2ヶ国は楽観と悲観の差が10%以上下がった。

以上

今後1年の自社の見通し(日本) 単位:%

数値は各項目について(楽観的と答えた人のパーセンテージ)-(悲観的と答えた人のパーセンテージ)

	2004年	2003年	2002年
売上高	27%	6%	-2%
収益性	4%	-15%	0%
雇用	16%	-4%	-36%
設備投資	29%	23%	-8%
建物新築	19%	10%	-2%
輸出	4%	5%	1%
販売価格	-25%	-50%	-24%

オーナー経営者の意識調査 - 概要

実施期間：2004年9月1日～10月31日

参加国数：24ヶ国

調査対象：6300名の世界の中堅・中小企業のオーナー経営者、または経営トップ

調査方法：電話インタビュー（日本、フィリピン、インド除く）

調査実施会社：日本では株式会社日経リサーチが日本国内における調査を実施。調査の一貫性保持のため、国際的な調査会社である Experian Business Strategies Limited と Wirthlin Worldwide が取りまとめを行った。

分析手法：バランス統計手法 DI (Diffusion Index) 景気判断 DI「良い」との回答比率から「悪い」との回答比率を引いた指数

ASG グループ (グラント・ソントン加盟事務所)

所在地：東京都千代田区永田町 2 - 14 - 3 赤坂東急ビル 12F

代表：本田親彦（公認会計士）

グループ会社：ASG 監査法人、ASG 税理士法人、ASG マネジメント株式会社、ASG アドバイザーズ株式会社

U R L : www.gtjapan.com

ASG グループは、世界 109 カ国をネットする国際会計事務所「グラント・ソントン」の加盟事務所です。広い視野と一歩踏み込んだ独自の提案をしています。国際水準の監査の他、オーナー系企業・中堅企業への各種業務・コンサルティングサービスの提供についてはトップクラスの実績を誇ります。

「顧客との信頼関係の構築」を経営理念に、世界レベルのソリューションを提供いたします。

< ASG グループが提供する 12 事業領域 >

監査・IPO・金融分野サービス・公益法人・事業戦略・国内税務コンサルティング・海外税務コンサルティング・評価・M&A/コーポレートファイナンス・対日/対外進出・システムコンサルティング

グラント・ソントン

グラント・ソントンは世界第 6 位にランクされるグローバルな会計事務所グループであり、オーナー企業および独立系企業を中心に監査、税務、その他会計コンサルティングサービスを提供しています。本拠地を米国シカゴに置き、世界 109 カ国、650 ヶ所以上の拠点、2200 名のパートナー、21,500 人の従業員を擁します。各グラント・ソントンの拠点は、全世界で共通の高品質なサービスの提供にコミットしており、クライアントの全世界あらゆる場所におけるビジネスの展開をサポートします。

日本では ASG グループ (ASG 監査法人、ASG 税理士法人、ASG マネジメント株式会社、ASG アドバイザーズ株式会社) が、グラント・ソントンの日本メンバーとして世界水準を導入した会計コンサルティングサービスを提供しています。

本件に対する問い合わせ先

ASG グループ マーケティングコミュニケーション担当 田代知子

T E L : 03 - 3595 - 0304 (直通)

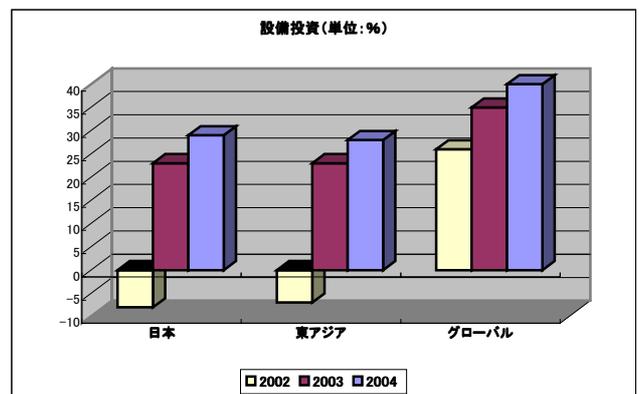
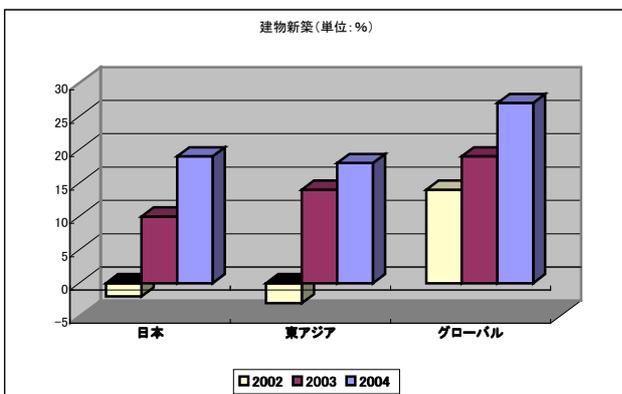
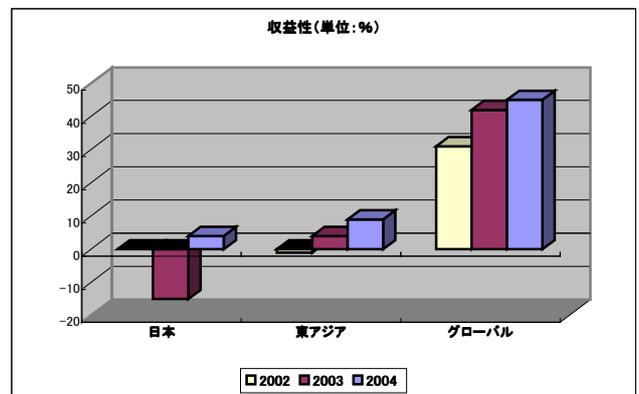
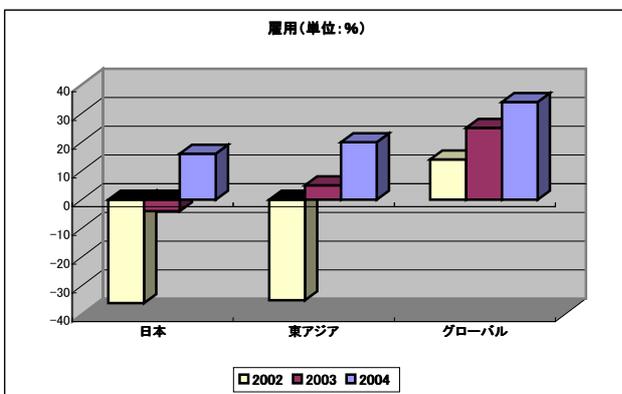
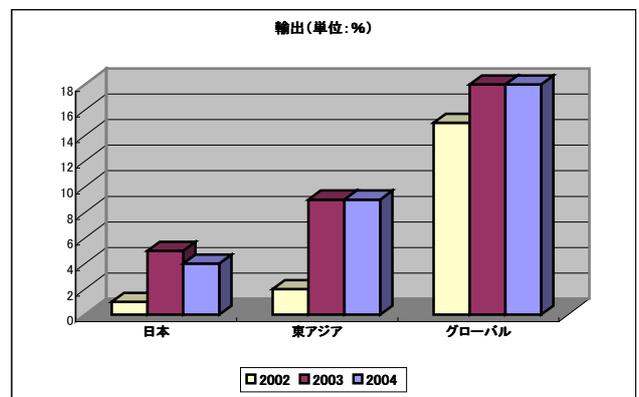
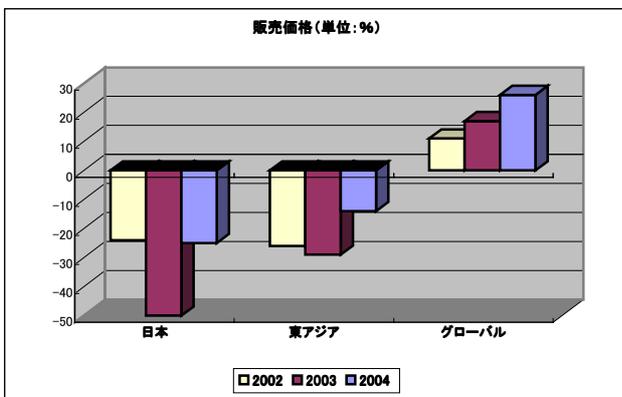
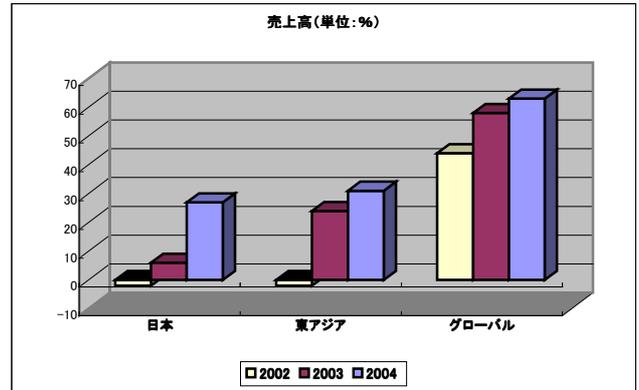
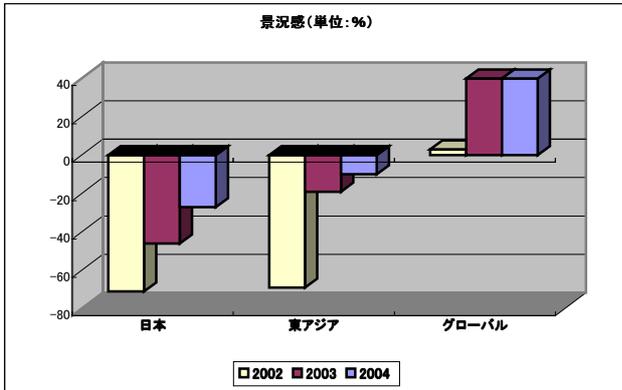
F A X : 03 - 3595 - 0395

e mail : asgMC@gtjapan.com

【参考資料：1】

今後1年の自国経済の見通し（日本） 単位：%

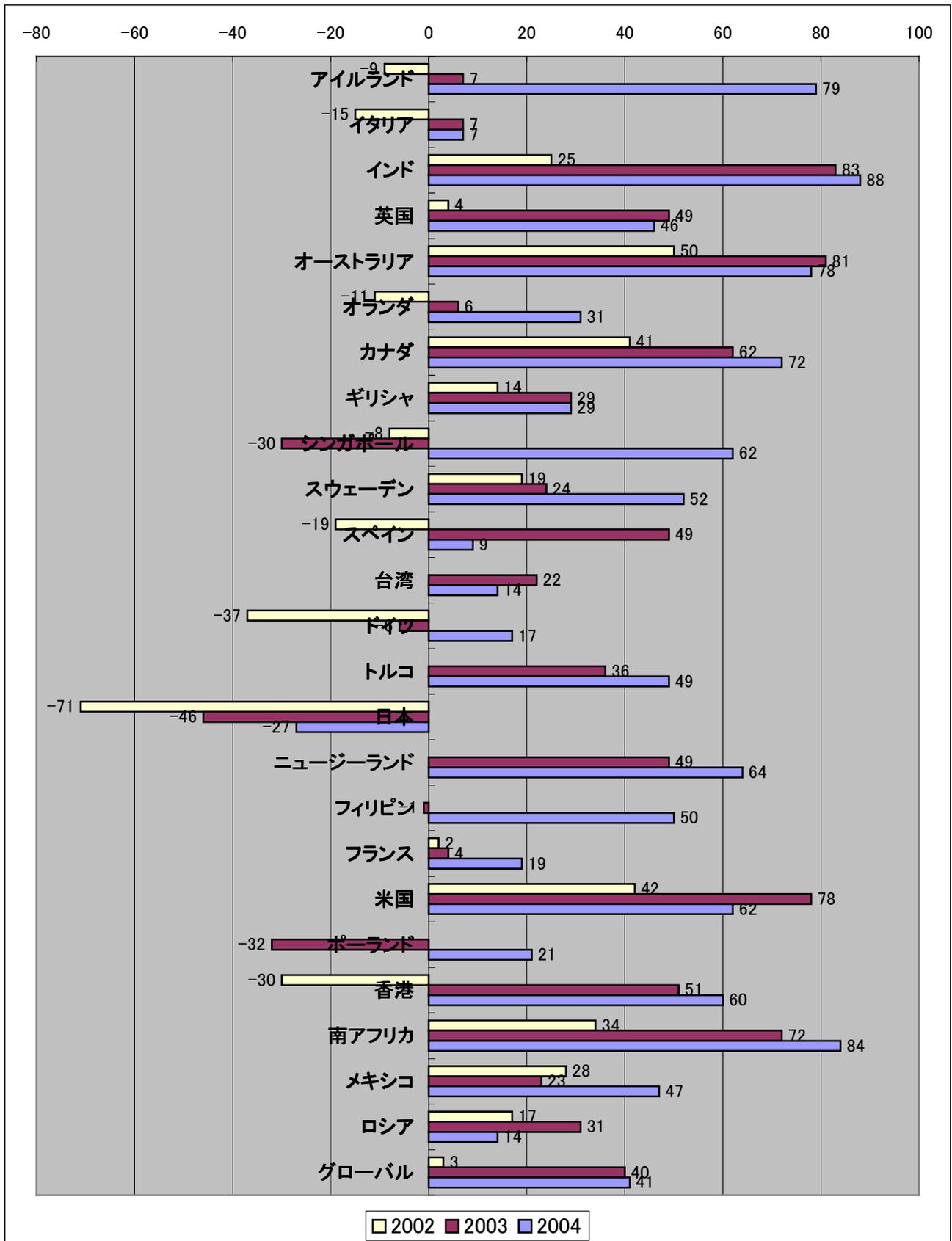
数値は各項目について（楽観的と答えた人のパーセンテージ） - （悲観的と答えた人のパーセンテージ）



【参考資料：2】

今後1年の自国経済の見通し（各国別） 単位：%

数値は各項目について（楽観的と答えた人のパーセンテージ） - （悲観的と答えた人のパーセンテージ）



出典：Grant Thornton International “International Business Owners Survey 2005”